



第19回千葉元気印企業大賞

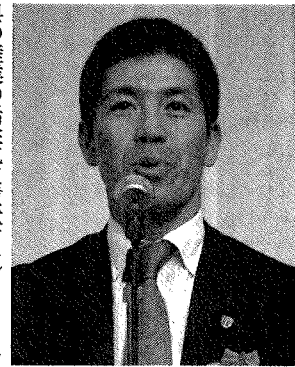
日綜産業が大賞を受賞
安全衛生の取り組みなど評価

18年ぶりの挑戦で頂点へ



主催者、受賞者らが記念写真に納まり受賞の喜びを分かち合った

小野社長



日綜産業は1995年に行われた記念すべき第1回に応募。入賞はしたものの、頂点には届かず悔しい思いをした。今回18年ぶりに工

仮設機材の専門メーカー、日綜産業(小野大社長、本社・東京都中央区)が千葉県元気印企業大賞で最高峰の千葉県知事賞に。今月18日に千葉市内のホテルで授賞式が行われ、諸橋省明副知事らから賞状と記念の楯、副賞が贈られ、千葉

県の産業の活性化に貢献する企業として、さらなる活躍に期待が寄せられた。この賞は千葉県内に事業所を有する活力ある企業、ベンチャー企業を表彰するもので、今年で第19回目を迎えるが、大賞を受賞した

ントリー、その時の重辱を見事に果たしたかたちとなった。品質や労働安全衛生に対する取り組み、全国仮設安全事業協同組合の設立に中心的な役割を果たすなど、業界全体の発展に貢献していることが高く評価された。

当日の式典は午後3時からスタートし、まず主催側を代表してフジサンケイビジネスアイの縣長二社長、共催の千葉興業銀行の青柳俊一頭取があいさつした。縣社長は「受賞の各社は独自の技術やサービスに絶対の自信を持っており、社員を信頼している。誇り、自信、信頼が新しい分野に挑戦する大きな力になる」と強調。青柳頭取は「今回受賞の各企業は、地元経済の活性化、本県の元気をもち

つと盛り上げるという意味で、まさに主役になっていただきたい」と激励した。来賓紹介、審査講評のあと、奨励賞5社、各部門賞計5社、大賞(千葉県知事賞)1社の順に表彰状・楯の贈呈が行われ、受賞企業の代表者一人ひとりに手渡され、改めてその取り組みを称えた。

続く来賓祝辞では、森田健作知事の代理として出席した諸橋副知事が「県としても地域経済の活性化や元気づくりには様々な努力をしていく。受賞企業の皆さんは、さらに磨きをかけ、千葉県を代表する元気な企業になって欲しい」と激励した。前回大賞受賞の物部エンジニアリングの物部長順社長は「知事をはじめ、携わる全社にお願したいことは、千葉で生まれた高度な技術をまず地元で活用していただき、世界へ広げていくことを願う」と訴えた。

これを受け、受賞者を代表して大賞を受賞した小野社長があいさつに立った。同社は東京・日本橋に本社を置くが、会社設立2年目に初の工場を船橋市につく

り、幕張テクノガーデンに本社の管理部門を移すなど、千葉県との繋がりが深い。また小野社長自身も船橋市で生まれ育ち、原風景は千葉県にある。このような中で大賞を受賞したことに対し「会社としても個人としても名誉であり幸せいっぱいの気持ち」と、率直に感謝の意を表し、さらに「『仮設なくして本設なし』を自負し今後も千葉県の発展や県民の幸福のために微力ながらお役に立てるよう努力していきたい」と決意を述べた。

このあと、同大賞を受賞した企業を中心に組織された異業種交流会「千葉元気印の会」の柳内光子会長(山一興産社長)が祝辞を寄せ、「この大賞も来年20年になるので、大賞も大きなものにしていただきたい。来年は女性(経営者)の企業が受賞して欲しい」と、エールを贈った。

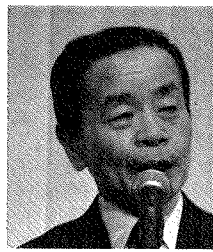
主催、受賞者が記念写真に納まったのち、会場を移し懇親会が開かれ、会場のあちらこちらで名刺交換が行われ、異業種間の交流を深めた。

主権、受賞者が記念写真に納まったのち、会場を移し懇親会が開かれ、会場のあちらこちらで名刺交換が行われ、異業種間の交流を深めた。

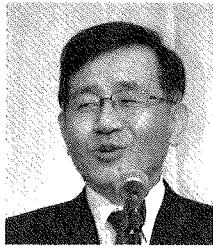
主権、受賞者が記念写真に納まったのち、会場を移し懇親会が開かれ、会場のあちらこちらで名刺交換が行われ、異業種間の交流を深めた。

主権、受賞者が記念写真に納まったのち、会場を移し懇親会が開かれ、会場のあちらこちらで名刺交換が行われ、異業種間の交流を深めた。

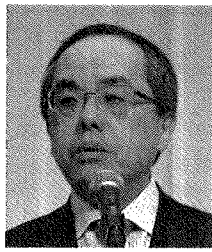
主権、受賞者が記念写真に納まったのち、会場を移し懇親会が開かれ、会場のあちらこちらで名刺交換が行われ、異業種間の交流を深めた。



縣社長



諸橋副知事



青柳頭取



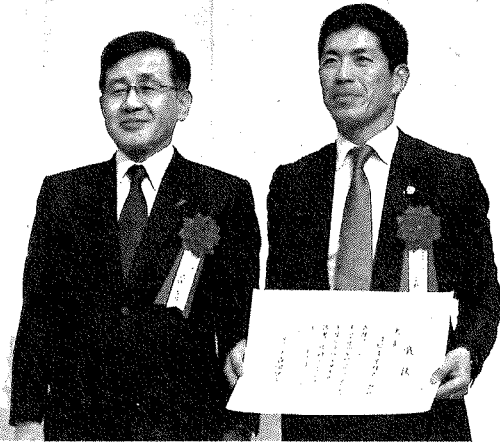
柳内会長

週刊(毎週月曜日発行) / 送料別 - 1カ年49,600円、6カ月27,000円(税・送料とも) / 昭和55年9月26日第三種郵便物認可 / 発行所・株式会社 鋼構造出版 / 発行人・田中正幸 / 編集人・大熊裕 / 本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 / 三忠ビル5階 / 〒103-0025 / 電話 東京03(5642)7011(代表) F.A.X.03(5642)7077 / 大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3本町コスモビル / 〒550-0005 / 電話06(6536)2601(代表) F.A.X.06(6536)7603 / 札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 / 〒003-0834 / 電話011(879)7666 F.A.X.011(879)3636 / 振込銀行口座・みずほ銀行東横支店024-1044873 / 郵便振替口座 東京00130-9-13713

日綜産業

第19回千葉元氣印企業大賞

大賞の『千葉県知事賞』を受賞



賞状を持つ小野社長と贈呈者の諸橋・千葉県副知事

日綜産業

(東京都日本

橋蛸殻町1-

10-1、小野

大社長)は、

第19回千葉元

氣印企業大賞

(主催・フジ

サンケイビジ

ネスアイ、共

催・千葉興業

銀行)で大賞

の千葉県知事

賞を受賞した。

18日、千葉県千葉市の京成ホテルミラマールで行われた授賞式では、小野社長が諸橋省明・千葉県副知事から賞状を授与されるとともに、縣長二・フジサンケイ

ビジネスアイ社長、青柳俊一・千葉興業銀行頭取から盾と金一封を手渡された。

同賞は、千葉県に事業所があり、活力ある中小・ベンチャー企業の新しい技術や意欲的な経営を表彰する

もの。同社は第1回にも応募、優秀経営賞を受賞している。今回、仮設機材の専門メーカーとして創業以来、現場で働く人たちの安全・

安心を追求した製品の開発

を手がけてきた。さらに品質や労働安全衛生に関する

認証取得や全国仮設安全事業協同組合の設立に中心的な役割を果たすなど、業界

全体の発展にも貢献している点が評価された。

今回受賞した11社を代表して受賞者あいさつに立つた小野社長は、「今まで当社が作り上げてきた技術・製品・サービスが間違っていないかった、地道な努力と

社会貢献が実を結んだ、と社員ともども喜んでい

る。『仮設なくして本設なし』で、仮設機材は縁の下の力持ち。受賞を機に、より安

全で快適な作業空間をめざ

し、新たな技術を提供する

とともに、千葉県の発展や

県民のために微力ながら役

立ちたい」と述べた。

3月24日

2014年
(平成26年)

月曜日

第18066号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

千葉県の「元気印企業大賞」

日綜産業が最優秀賞

軽仮設機材メーカー
の日綜産業(本社・東
京都中央区、社長・小
野大氏)はこのほど、
第19回千葉元気印企業
大賞(主催・フジサン

知事賞を受賞した。今
月18日、千葉市中央区
の京成ホテルミラマー
で授賞式が執り行わ
れた。

同賞は、県内の産業
界を対象に新技術、新
製品開発、ユニーク経
営などを通じ、活力溢
れる経営で時代を先取
りする中堅・中小およ

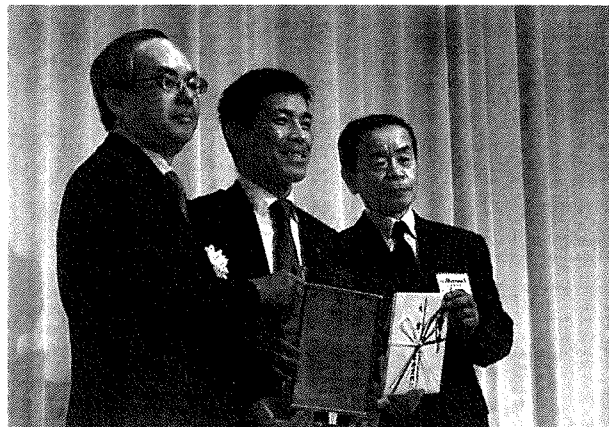
びベンチャー企業を表
彰するもの。95(平成
7)年度から開催され
ており、今回は50社近
くの応募があった。

授賞式で挨拶に立つ
た小野社長は「当社は
現在、県内に管理本部
と東日本全体をカバー
する営業事務管理セン
ターなど拠点を置いて

おり、また仮設機材・
足場施工では県内の様
々なライフラインや公
共施設の現場に携わっ
てきた。住んでいたこ
ともあって、私にとっ
ては正に故郷」と、千
葉県に対する思いを披
露。そのうえで「時代

を先取りしたエンジン
アリングの提供で建設
現場のより安全・快適
な作業空間を創造し、
千葉県の発展に貢献い

ていきたい」と今後の
意気込みを語った。



表彰を受ける日綜産業の小野大社長(真ん中)フジサンケイビジネス
アイの縣良二社長(右)、千葉興業銀行の青柳俊一頭取(左)

授賞式後は懇親パ
ーティーも行われ、出席
した社員とともに、他
の受賞者らとの親睦を
深めた。